



のと鉄道七尾線に鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE)を派遣しました

鉄道・運輸機構（JR TT）は、令和5年度から、自然災害等により被災した鉄軌道施設等の早期復旧を支援するための「鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE)」を設置しております。

今般、国土交通省からのと鉄道株式会社へ鉄道災害調査隊を派遣するよう要請を受けたことから、被災状況を把握するため鉄道災害調査隊を派遣しましたので、お知らせします。

JR TTは、今後も鉄道の整備に要する土木・軌道・建築・機械・電気等の各分野の専門的な知見を活かし、鉄道事業者等が行う被災状況調査や復旧対策の策定等について技術支援を行ってまいります。

- 派遣日 令和6年1月9日（火）～10日（水）
- 被災内容 令和6年能登半島地震による鉄道施設の被災
- 派遣箇所 のと鉄道七尾（ななお）線
和倉温泉（わくらおんせん）駅～穴水（あなみず）駅間 28.0km
※ 上記区間について鉄道災害調査隊が現地調査を実施
- 派遣人数 技術系職員を中心に7名
- 活動内容
 - 調査区間の鉄道施設の被害状況を現地踏査により把握
 - 被害状況調査の結果や技術的所見をとりまとめた「調査報告」を現地で実施
- その他 鉄道災害調査隊の派遣は、今回で5例目。

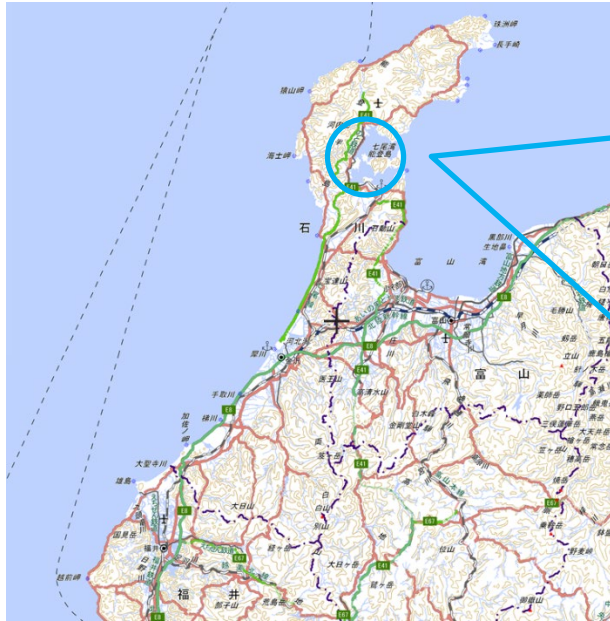
<本件に関するお問合せ先>

鉄道企画調査部 鉄道総合支援課 大中、山本

TEL 045-222-9059

鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE)の活動状況

<調査区間> ^{なお}のと鉄道七尾線 ^{わくらおんせん}和倉温泉駅～^{あなみず}穴水駅間 28.0km



(国土地理院地図を加工して作成)



<現地調査状況>



<^{のと}能登鹿島駅～^{あなみず}穴水駅間>
土砂流入箇所の調査



<^{たつるはま}田鶴浜駅～^{かざしほ}笠志保駅間>
橋りょう被災箇所の調査